

平成30年第12回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 平成30年12月21日（金） 午後2時

2 招集場所 大河原町役場 議員執務室

3 出席委員 一盃森広志委員、丹羽宜博委員、古山陽子委員、齋一志教育長

4 説明のため出席した者

教育総務課長 尾形 彰、生涯学習課長 八島 良隆、学校教育専門監 池田 尚人

5 開 会 午後2時

（舟山委員欠席の為、一盃森委員が議事進行）

6 平成30年第11回教育委員会定例会会議録の承認について

一盃森委員 （委員全員に諮って）承認する。

古山委員、齋教育長 署名。

7 平成30年第12回教育委員会定例会会議録署名の委員指名について

一盃森委員 | 一盃森委員、丹羽委員を指名する。（舟山委員欠席の為次回署名へ）

8 教育長報告

（1）一般事務報告

報告第27号 平成30年第4回大河原町議会定例会（12月議会）の結果について

（説明者：教育総務課長、生涯学習課長）

内容についてご説明申し上げます。資料は別紙のとおりである。

（質 疑）

丹羽委員

来年度各校にペッパー1台ずつ導入は誠に素晴らしいが、補修についての保証はあるのか。

専門監

意図的に壊したものでなければ直ぐに代替器と交換となる。

教育長

大河原南小学校ホームページに、ペッパーメーカーというソフトでペッパーの動画を沢山作成して発表している。素晴らしいのでぜひ見ていただきたい。⇒モニターで見せる。

専門監

声や抑揚も変えることができる。子ども達は非常に覚えるのが早いので、3分で作成したものもある。

丹羽委員	1年前にソニーで慰霊祭をして、導師がペッパーだった。お経や法話の内容も良かった。近い将来そういう将来が来ていると感じている。
専門監	この大河原南小の作った動画も1回視聴すると10円寄附というようなシステムがあればよいのではないか。
一盃森委員	ペッパーの導入は、宮城県内の市町村では初めてである。
丹羽委員	子供たちがこういうものに実際触れることによって、大きな未来への可能性が広がるだろう。
丹羽委員	進んだ技術のモノに触れることだけでなく、人間として何が大事なのか、教育の大事さがそこにあると思う。しかしペッパー導入は非常に楽しみである。

(2) 専決事務報告

報告第6号 専決処分の報告について

①大河原町少人数学級編成の実施に係る任期付教職員の採用に関する条例の一部改正について

③平成30年度大河原町一般会計補正予算（第5号）

(説明者：教育総務課長、生涯学習課長)

専決処分についてご説明申し上げます。資料は別紙のとおりである。

(質 疑)

丹羽委員	新給食センター工事、かなり進んでいるようだが。
教育総務課長	鉄筋を地中に埋めて、基礎を固めている状況。今後は3月から建物の工事に入り、形が見えてくる。7月には完成する見込みである。また現在、敷地西側にL字擁壁を設けて、農地に土砂が入り込まないように工事をしている。
丹羽委員	学校への配送についての検証を行っており、食器の大きさも変わることから、コンテナの数や、学校内での台車、配膳業務人員を来年度学校予算でも要求している。
教育総務課長	今までの給食センターより効率的に運営できるのか。人員の変更は、効率的に運用が可能となる。しかし人員は16人から19人程度に増員予定である。理由は面積が広がる為、人員が必要になるものである。
丹羽委員	アレルギー対応はどうか。
教育総務課長	アレルギー対応の栄養士を、管理運営側のメフオスで配置する契約としている。アレルギー除去食であるため、既存のメニュー材料から除去した食材で代わりの献立を作ることになる。あくまでも登録している児童生徒のアレルギー食材を全て除いて作るのであって、その人専用の給食を作るわけではない。
一盃森委員	アレルギー反応に対しての教員の体制はどうか。
教育長	少しでも発見した場合は、躊躇なく救急車を呼ぶよう指導している。数年前にアナフィラキシーショックをおこし、直ちに救急車を呼び大事に至ることなく対応できている。毎年入念に調査をして対応しているが、急に発症した場合はすぐ救急車を呼び対応するよう指導している。

教育総務課長 教育長	エピペン（アドネラリン自己注射製剤）の用意は学校でもしている。 エピペンは医者の方箋を得た児童生徒のみであり、なおかつ使えるもの認められた者のみである。毎年救命講習を行っており、気道確保の方法は指導を受けている。
一盃森委員 教育総務課長	学校給食の栄養管理パソコンを借りているようだが。 献立を作成するときに使用しており、更新していかなければならない。
一盃森委員 教育総務課長	図書管理システムは何年経っているのか。 平成22年度～23年度に各校に導入しており、経年劣化によりデータやPCも壊れかかっているため今回補正要求している。今後1年1校ずつ入替を行っていきたい。

9 議 事

なし

10 その他

(1) 教育長報告

(説明者：齋教育長)

資料は別紙資料である。今年1年、数々の大きな功績を残せたことに感謝する。

I 表彰 おめでとう

○宮城県 優秀教員表彰

大河原中学校 教諭 川村 孝幸

金ヶ瀬中学校 養護教諭 鎌田 百合子

○全国スポーツ推進委員功労者表彰

大河原町スポーツ推進委員 今井 徳治

○東北地区 社会教育委員表彰

大河原町社会教育委員 高橋 美津子

II 大河原小学校 自主公開研究会

活用する力を高める児童 平成31年2月8日

III 12月議会一般公開 教育委員会関係

堀江一男 大河原町にぎわい交流施設

万波孝子 学校給食の現状

丸山勝利 救命講習

高橋 豊 小学校プログラミング教育

IV 大河原クロスカントリー大会

11月23日(木) 大河原多目的広場

教職員及び児童生徒から沢山の参加があり、盛り上げていただき感謝する

V 大河原中学校科学部 全国大会 全国総合第4位(宮城県で過去最高順位)

12月7日～9日 科学の甲子園全国大会(茨城県 つくば市)

仙台二華中と合同チームで出場 実技2位、筆記5位

VI 12月の標準学力テスト対策

授業が生き生きと展開されているか 予定より先に終了させ 笑顔で終了宣言を
4月の課題が克服されているか 4月の結果より弱点の補強は如何に

VII 大河原町全教職員 情報機器アンケートより

- ・校内での連絡が、早く確実にできるようになった。
- ・教材の準備が少なくて済む。教材作成の時間が削減された。
- ・使い慣れると様々なことに活用したくなる。
- ・思いついたときにすぐ使うことができる。
- ・ノートやワークシートの（写真を撮り）発表がスムーズにできる。
- ・どの部分まで注意すべきか 伝えるのに便利。
- ・授業の効率化、無駄な時間を減らすことができる。
- ・大河原町で働きたいという魅力になる。
- ・ICT環境を整えていただき、授業づくりや働き方が変わってきたと感じる。
- ・いつも教員が使いやすいように子どもの学びを最適なように整備していただきありがとうございます。

VIII 不祥事防止対策

学校の「法令等遵守」推進体制

①推進担当者のリーダーシップが発揮されているか。

②点検及び職員会議での報告

IX 事故防止

- 1 交通事故防止
- 2 情報管理徹底
- 3 公金管理徹底
- 4 冬季休業中の生徒指導、学習指導について

X 「アイリス管理者10訓」に学ぶ

- 1 管理者とは管理人ではない
- 2 仕組みを確立せよ
- 3 目的はより明確に部下に周知せよ RPDCA R（リサーチ）は大河原町で追加
- 4 同じことを繰り返すな
- 5 失敗を恐れるな
- 6 能力は引き出した意欲で決まる
- 7 適材適所で公正な評価
- 8 報告上手は任され上手
- 9 公私のけじめをつけよ
- 10 自分を管理できなければ他人を管理することはできない

XI 第38回全国中学生人権作文コンテスト

12月15日（土） 槻木生涯学習センター

大河原中学校 3年 県奨励賞 2年 大河原優秀賞 3年 大河原奨励賞

(質 疑)

- 丹羽委員 大河原中学校の科学甲子園全国第4位、大変素晴らしい。仙台二華中との合同チームだということだが。
- 専門監 県大会で仙台二華中が1位、大河原中学校が2位であった。全国大会は6人編成なので、それぞれ3名ずつ出てチーム構成としたようだ。他県では、6人が別々の中学校から選出している県もあったようだ。また、学校で見ると、ほとんどの学校が私立の進学校か、大学の附属中学校であった。公立校は2校のみであった。
- 一盃森委員 本当に大変素晴らしいことである。
- 丹羽委員 タブレットは、大河原小学校の自主公開授業でも使われるのか。
- 教育長 昨年も使った授業があったが、今回はほとんどの学年で使われるようである。
- 一盃森委員 クロスカントリー大会だが、来年にぎわい創設ということで、是非進めていただきたい。今年中学生のボランティア活動があったが、子供たちに聞いてみたところ、学校で説明があり、希望した生徒が集められたそう。やる気があって非常に素晴らしかった。今後もどんどん町の行事に参画できる機会を増やして、一生懸命取り組む機会を作ってほしい。
- 生涯学習課長 総合案内の担当の生徒を見ていたが、指示をせず様子を見ていたが、生徒たちが自主的に判断して動いており、非常に感動した。
- 専門監 給水所の生徒たちもどうやったら取りやすいか等考えて工夫して対応していた。
- 教育長 今年の「未来会議」で生徒からボランティアの発案があって実施したものである。今後も継続していきたい。
- 古山委員 先日の明日の青少年を育てる会でも、トークフォークダンスで保護者に付いてきた小学2年生の子どもが参加し、「自分の意見をこんなにたくさんの大人に聞いてもらえて良かった」と言っていた。子ども達は話がしたいんだと感じた。
- 教育長 大人の人も、こんなにたくさんの子供と話したことが初めてだと言っていた。
- 一盃森委員 自己有用感の問題があるが、ああいう取り組みで、大人が自分のことを認めてくれているという体験ができれば自分の存在意義を見出し、自己有用感の育成につながるのではないかと。
- 教育長 大人と子供が自分の存在意義を確認することにもなるので、子供にも大人にも非常に大事なんだと感じた。
- 古山委員 私も参加させていただいたが、ある中学生は、大河原町で一番好きな場所はどこかという質問に、「自分の家だ」「家族がいるその家が好きだ」と言ったのが印象的だった。
- 丹羽委員 一番の基本だと思う。教育も全てが基本は家である。その子は非常に幸せだと思う。
- 古山委員 金ヶ瀬小学校の故松山先生のオペレッタも、このトークフォークダンスも非常に感動的だった。

○その他

・実証研究参加について（教育長）

先日仙台大学の学長・副学長・教授に面会し、来年度「運動と学習の効果」について、仙台大学のゼミで実証研究を行うということが決まった。学力向上が低下しないように、運動との相乗効果、自己有用感を持たせる、自分たちの力で学力を向上させる効果があるのではないかとということを検証する。

・インバウンド事業による中国 上海からの学校訪問について（専門監）

先日大河原小学校と大河原中学校に、インバウンド事業の一環として、教育旅行誘致事業で上海の学校から視察を受けた。発表と、一緒に踊ったりする活動をした。子ども達は非常に喜んでいて、今後こちらからも視察に行く予定である。

（２）各課長報告

（説明者：教育総務課長、生涯学習課長）

1月の行事予定を説明申し上げる。別紙資料である。

1 1 次回教育委員会の開催日程について

一盃森委員 | 次回の定例会は、平成31年1月25日（金）午後2時から開会する。

1 2 閉会宣言 午後4時25分

平成31年1月25日

署名委員

署名委員